

No.28-0151-071

東京都立

旧芝離宮恩賜庭園

65歳以上



一人一回有効七〇円

この地は、芝浜と呼ばれていた眺望豊かな海浜でしたが、延宝六年、時の老中大久保忠朝が下屋敷として賜り、約八年の歳月をかけ作庭し「楽寿園」と名付けました。その後、幾多の変遷を経て明治八年には宮内省所管、翌九年芝離宮となりました。関東大震災によりこの名園も廃墟と化しましたが、翌十三年皇室の御慶事記念として東京市に下賜され、市では復旧に努めるとともに一般公開し今日に至っています。

本園は、江戸庭園の典型ともいえる潮入りの回遊式築山泉水庭園で、潮の干満を利用して水辺に変化をもたせた池の中心に作庭され、品川の海が眺められるようになっていました。又、池中にある西湖の堤は中国浙江省のそれを模したもので、園景の中心である中島（蓬萊島）の石組や州浜などとともに、見どころの一つとなっています。

現在は、前面の海岸埋立により海浜の眺望を失い、東海道本線の拡幅や新幹線の敷設などで園地を狭められましたが、地割の妙などに往時をしのぶことができる名園であります。

開園年月日 大正13年4月20日

面積 43,175㎡

○休園日 年末年始

(12月29日から翌年1月1日)

○注意 入場料の払戻し及び

入場券の再発行は、

原則として行いません。

旧芝離宮恩賜庭園 ☎ 03(3434)4029